

平成23年度第1回センター委員会議事録

日 時 平成23年6月27日(木) 午前10時～12時

場 所 藤が丘地区センター 中会議室

出 席 者 センター委員

竹崎昂介様 千葉紘一様(みたけ台町内会) 野口長宏様(もえぎ野町内会)

鈴木清平様(柿の木台町内会) 五味靖治様(藤が丘1丁目町内会)

柴田正雄様(藤が丘2丁目A自治会) 瀬戸千佳子様(藤が丘2丁目B自治会)

柿沼清次様(千草台自治会) 葛西せつ子様(梅ヶ丘自治会)

利用者代表:

上田宗孝様(青葉区高齢者健康体操指導者会)

瀬之口類子様(藤が丘インターナショナルトークサロン) 馬場現示様(男声合唱団きこり)

小笠原弘様(3WAネットワーク) 鶉籠文明様(緑のボランティア) 順不同

指定管理者(NPO法人建物管理ネットワーク):

谷川理事長、蒲谷事務局長

藤が丘地区センター館長、副館長:片瀬、増岡、植田

1. 指定管理者挨拶・センター委員紹介

・指定管理者挨拶

谷川理事長、蒲谷事務局長より挨拶、続いて職員挨拶

・センター委員自己紹介

みたけ台町内会は、竹崎氏より千葉紘一氏に交代のためお二人が出席されました。

2. 平成23年度センター委員会会長・副会長選出

会長に葛西せつ子様、副会長に五味靖治様が選出されました。

3. 平成22年度(第1期指定管理5年間)報告

報告:片瀬館長

資料を元に、利用状況・利用料金・ニーズ対応費使途・修繕対応・サービス向上・苦情・提案対応について説明しました。

(1) 平成22年度利用状況(資料2.p.1)

① 利用状況について

センターまつりを内容にあった開催方法にそれぞれ変更したことで、年間の利用者数が11月に集中せず平均化されつつあります。忙しさが集中しないため、スタッフ・職員の対応などの日常サービス向上につながりました。

② 部屋稼働率

稼働率は22年度58%とほとんどピークに達していますが、第2期指定管理中に60%を目指していきます。他の地区センターと比べても利用者が多く、カウントしきれていないため実際の数字はもっと大きいと思われます。

(2) 利用状況動向(資料3.p.1)

横浜市図書受入数に着目すると、地区センター図書の貸出数と差がなくなってきました。先日中央図書館から視察がありましたので、藤が丘は取次数が一番多いこともあり日常業務の中ではかなりのウエイトを占めている事実を報告しました。

(3) 利用料収入(資料4 p.)

利用料収入目標額達成率は132%と、目標額を大幅に上回る数字となっています。この中には、自主事業における部屋利用料(50万円/年強)も含まれます。

(4) 修繕・更新の取り組み(資料5 p.)

- ・自動ドア西側の使用頻度が高く傷みが激しいため、エンジンを交換しました。
- ・体育室は利用頻度が高く稼働率ほぼ90%のため、今後も定期的にワックスの上塗り等のメンテナンスが必要です。
- ・新築以来設置されていなかった体育室の止水栓を設置しました。
- ・早めの発見と修理で大修繕にならないよう運営してきました。

(5) H22年ニーズ対応費の用途について(資料6 p.)

利用収入目標額の1/3強を、ニーズ対応費として利用者に還元しました。緑化事業・蔵書購入・修繕費・消耗品費等に使用。3万円を超えるものは備品となりますが、3万円以下は消耗品となるため、掃除機なども消耗品として計上しました。

(6) 苦情・ご意見、サービスの改善等状況について(資料7 p.)

① 苦情・ご意見について

苦情はだんだんと減ってきていると実感しています。実際ご意見箱に入るものが少なくなっているため、迅速な対応で満足度は増していると思います。子どもたちからの意見として、児童書の充実やフットサルをやりたい、カードゲームの禁止解除やゲーム機の充電を希望する声が聞かれますが、フットサルは体育室の壁の強度問題があり容認できない状況です。カードゲーム等に関しては、地区センターからの押付ルールではなく、「子ども利用者会議」のようなものを作って、自分たちでルールを作らせることも考えています。

前年度要望のあったカラーコピーは、4月1日から使えるようになっています。オープンスペースの使い方についても多くの要望を頂きますが、お互い譲り合ってご利用頂くようご理解を求めました。

② サービスの改善について

区からの要請で2階トイレをオストメイト対応に改善したほか、各種修繕や備品の清掃・点検をはじめ、月1回の緑のボランティアさんの活動などにより、快適なご利用環境を整えました。

4、 第2期指定管理提案による管理運営(資料8 p.)

説明：片瀬館長

第2期指定管理に向けてさまざまな提言をしました。今後の5年間も懸命に取り組みたいと思っています。

- (1) 基本方針…今現在ある賑わいを維持し、さらに動きのある館にしていきたいと思えます。地域の皆さまに今まで以上にご利用頂き支えて頂きながら、「地区センターに行けば・・・」と思って頂ける地域の大切な拠点になれば嬉しいと思えます。また、地域の情報発信地となれるように情報の収集もしていきたいと思えます。
- (2) 計画…バリアフリーに取り組みたいが構造上難しい所もあります。ハード面だけでな

く、心のバリアフリーも心がけ、出来る限り居心地の良いセンターを目指したいと思っています。利用料金割引による利用促進を、指定管理期間に実施する予定です。

- (3) 自主事業の展開…藤が丘地区センターの特徴として、地域からの提案を受けて自主事業を組み立てることにより、門戸を広げ、ニーズに合ったものが開催できると考えています。体操は地域の健康を維持する一助となっていると自負しており、これからも続けていきたいと思っています。指定管理者、企業、団体、行政とタイアップし、地域社会に貢献する講座を提供していきたいと思っています。

5、 平成23年度行事予定(資料・別紙)

・大きな行事として、センターまつり・七夕まつり・節分会があります。直近では七夕まつりを控えていますが、今年は小島会長を中心として「七夕まつり世話人会」を組織し、地域の老人会・子ども会の方達の全面的な協力で成り立っています。事前準備の皆さまのご協力を思うと、2時間で終わってしまうのはもったいないような気持ちになります。

・例年9月に行っている緑弦楽合奏団の秋のコンサートは、今年度は10月開催予定です。楽しみにして下さっている方が多くリラックスした雰囲気曲にまつわるお話なども聞く事が出来ます。元NHK交響楽団第1バイオリンの村上氏の指導によるもので、ハイレベルの演奏が楽しめます。

・藤が丘地区センターのシンボルツリーであるヒマラヤ桜は、地区センターと同年です。(平成元年生まれ)「ヒマラヤ桜の集い」も恒例行事となりました。

6、 節電計画(資料11p、)

・予想しなかった震災により、7・8・9月の3カ月間週1回の休館日を設けることになりました。館長会での話し合いにより、固定曜日の休館は利用者に不公平になるため、曜日をずらして休館することになりました。今後の動向によっては、秋以降も週1回の休館があるかもしれません。

・館内、特に体育室は極力照明を点けないように協力頂いています。4、5月は利用量が半減しましたが、6月は上がっています。今後クーラーを入れる必要も出てくるとは思われますが、どのように対応していくか難しいところです。室温を28～30度に維持することは難しく、さらなる工夫と利用者への協力呼びかけが必要です。

7、 これからの取り組み・課題(資料12p、)

・受付スタッフの研修を行い、将来的には利用団体の活動に対する理解、地域に対する理解を深め、情報提供や相談業務まで行えるコーディネーターとしての役割が果たせるようにしたいとおもいます。

・センター委員の皆さまをはじめ、地域の皆さまからご提案・アドバイスを頂き、今以上に活力ある地区センターとして行きます。

上記議事について以下のような質疑応答がありました。

<p>[質問1]</p> <p>(鈴木委員) 町内会の方がどの程度の人数利用しているか、町内会毎の利用人数を知りたい。防災対策や利用促進のためには、分かると良いと思います。</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(柿沼委員) 個人情報なので、色々と工夫が必要</p> <p>(野口委員) 記入に工夫をすれば統計として取れるのでは?</p> <p>(小笠原委員) 日常的に集計するのは、市のフォームが決まっているので難しいのでは?</p>	<p>[回答1]</p> <p>(片瀬館長) 入館チェックと利用報告書で、統計を取ってはいますが、区単位までで町名・自治会名までは分かりません。単発のアンケートの形で取ることは可能かもしれません。</p>
<p>[質問2]</p> <p>(小笠原委員) 節電により浮いた経費はどのように使っていきますか。また、自主事業についてNPOとしてはどのような考えを持っているのかを聞きたいと思います。</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(鵜籠委員・柴田委員・竹崎委員) 予算について</p> <p>(野口委員) これからの課題ですね</p>	<p>[回答2]</p> <p>(蒲谷事務局長) 節電により経費が浮く一方で、休館日を設けるため利用料金の減収もあります。まだ、データが出ていない状況では何とも言えませんが、もちろん、予算は利用者のために使っていくものです。</p> <p>(片瀬館長) 指定管理料の中には利用料金収入が含まれています。1日の休館でおおよそ1万円の減収が見込まれますが、2期目の利用料金収入として410万円が予定されています。その1/3のニーズ対応費は減らすことが出来ないため、そのあたりに充当が必要かもしれません。</p>
<p>[質問3]</p> <p>(竹崎委員) 電気料金の目標値など、区役所からの要請はありますか。</p>	<p>[回答3]</p> <p>(片瀬館長) 役所から具体的な数字を挙げての要請はありませんが、東電との間で前年ピーク電気使用量の15%削減値で契約をし直しました。</p>
<p>[質問4]</p> <p>(竹崎委員) 会議室の鏡や金属部分は危険性はありませんか?</p>	<p>[回答4]</p> <p>(片瀬館長) 危険の無いように気をつけて使っています</p>
<p>[質問5]</p> <p>(五味委員) 休館日増による収入減はメンテナンスに影響はありませんか?</p>	<p>[回答5]</p> <p>(片瀬館長) 今のところそれほどの影響は無いと思っています。4月の収入は多少減っていますが、利用料収入の目標は何とか達成出来るものと思います。60万円以上の修繕は役所の分担になるので、上手に修繕していこうと思います。</p>

<p>[質問6]</p> <p>(五味委員) 大震災があった場合、地区センターは行政上どのような位置づけになっていますか？</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(小笠原委員) 物資の一時保管や、地域と連携をとり地域防災の一員となる事を、行政から期待されているのではないか。</p>	<p>[回答6]</p> <p>(片瀬館長) 緊急避難場所としては指定されていません。3月11日は区から職員が来て帰宅困難者の対応にあたりましたが、実際の避難はありませんでした。役所からの指示が無いから何もしなくても良いとは思っておらず、発電機や水・食料の備蓄等も考えています。</p> <p>(蒲谷事務局長) 指定管理の協定に沿って、役所に協力する立場ではあります。</p>
<p>[質問7]</p> <p>(馬場委員) 地区センターの救急体制はどうなっていますか。救急車要請は事務所を通しますか？その事について掲示されていますか。</p>	<p>[回答7]</p> <p>(片瀬館長) 事務所から救急車要請をしていますが、今は携帯電話もあるので直接要請して頂いてもかまいません。分かるような掲示を各室に致します。</p>

その他委員からのご意見

(葛西委員) 子ども利用者会議はいい案ですね。ゲーム機の充電を希望する子どもには、手回しの充電機を貸してあげてはどうでしょうか？電気をおこすことの大変さも分かり、防災の勉強にもなるのでは。

(馬場委員) 利用時に子どものマナーの悪さが気になります。注意してもやめない。学校に行く年齢になる前に、家庭でのしつけが大事だと痛感します。

以上、短い時間の中で活発なご意見を頂き、12時に閉会しました。

(委員会資料) 平成23年度横浜市藤が丘地区センター委員会名簿
平成23年度藤が丘地区センター主要行事予定
横浜市藤が丘地区センター委員会要綱
特定非営利活動(NPO) 法人建物管理ネットワークについて
第1回センター委員会次第および資料一式